

雨の季節 気持ちのよいあいさつで、心晴れやかに！

雨に濡れる紫陽花が鮮やかに咲いています。そろそろ梅雨入りを迎え、雨の季節が訪れます。

5月には、引き渡し訓練、防犯教室、交通安全教室、また各学年でもいろいろな行事が行われました。1年生と2年生の「なかよし交流会」では、2年生がクイズやダンスを準備し、1年生はとても楽しい時間を過ごしました。学校は、交流やふれあいを通して、心も身体も成長します。1年生は成長し、来年の春には、新しい1年生を迎えるための準備をしてくれることでしょうか。

さて、6月に入りました。1年生も学校生活にだいぶ慣れてきました。学習では、先生のお話をしっかりと聞き、ひらがなやかずの学習を行っています。生活科で育てているあさがおに、毎朝、きちんと水やりもしています。6月は、水泳指導、学習参観などの行事があります。暑さ対策、感染症対策を取りながら、いきいきと学習できるようにしていきます。

雨の季節、少し、気分が上がらない朝にも、「おはようございます。」と気持ちのよい挨拶を交わすと、うれしい気持ちになります。「あいさつ」の大切さを、学級、学校全体でこれからも伝えていきます。ご家庭でもご協力をお願いします。

5月31日から6月2日までの3日間、長柄の少年自然の家で5年生の移動教室が行われました。施設内外において感染症対策を徹底しながらの実施となりました。移動のバスでは、バスレク（クイズや歌など）は行わない、食事中は無言等、我々が体験してきた修学旅行などからは考えられない規制の中での活動となりましたが、クライミングウォール、ナイトハイク、勾玉作り、ザリガニ釣り、キャンプファイヤー、焼き板作り等、自分の役割分担の仕事にも一生懸命取り組みながら、皆、貴重な体験をすることができました。そして何より、友だちとの「心の距離」はぐっと近づいて、絆を深めることができました。コロナ禍、健気にひたむきに活動している子どもたちを見ると、子どもたちのために、大人は何ができるのか、何をしなければいけないのか、今一度、考えていきたいと強く思います。この時期に、仲間と過ごした思い出は、子どもたちにとって、一生の宝物となることでしょうか。



校長 小谷 泰也